

平成29年度 米子市社会福祉協議会事業報告書

I 総括及び重点目標の取り組み状況

＝重点目標＝

- 1 地域福祉事業の推進
- 2 生活支援・総合相談事業の推進
- 3 第2次米子市社会福祉協議会発展・強化計画の策定
- 4 広報活動の推進
- 5 福祉意識の啓発

平成28年3月31日に社会福祉法人制度改革と福祉人材確保の促進を柱とする改正社会福祉法が成立し交付されました。法改正に対応するため、米子市社会福祉協議会では、平成29年4月1日に定款を改定し、理事・評議員・監事の定数、条件、選任方法等の変更及び理事会・評議員会の役割や責任の明確化を図りました。そして、6月20日の評議員会、理事会において、新会長に田後良文理事が選任され、「新生米子市社会福祉協議会」が発足しました。「誰もが自分らしく、安心して生活を送ることができる地域社会の実現」を基本方針に、会長自ら米子市内全ての地区社協に出向き意見交換を重ね、「話し合い、つながり、支え合い、助け合う心豊かなまちづくり」の取り組みを実践するなど、積極的に事業展開を図ってまいりました。

4月の市長選挙により米子市では43歳の伊木隆司新市長が就任され、「住んで楽しいまちづくり」に動き出しました。すぐにトップ同士の意見交換を申し入れ、米子市の地域福祉推進に向けて、さらに連携を強化していくことを確認しました。また、伊木市長には10月に第50回記念大会として開催した「米子市社会福祉大会」において「魅力ある米子市～共生社会への取り組み～」と題してご講演いただき、平井伸治鳥取県知事の講演とともに大会を盛り上げていただきました。

7月には、県社協及び県内全ての市町村社協で「災害時相互応援協定」を締結しました。これにより、災害が発生し被災した場合に単独では十分な被災者支援活動が実施できない場合でも県内社協が相互に協力して迅速に応援を行うことが可能になりました。また、九州北部豪雨災害、秋田県豪雨災害が相次いで発生したことからふれあいの里に「災害義援金箱」を設置し、日赤を通じて被災地に義援金を送らせていただきました。

10月には予てからの念願であった「米子市社会福祉法人等連絡会」（市内の社会福祉法人等が一堂に会し、米子市の福祉の現状と課題について話し合う情報交換・意見交換のための連絡会）を24法人の参加により設立することができました。これにより地域福祉を推進する「協議体」としての特性を発揮して社会福祉法人等との協働による公益的な取り組みが可能になります。

本年度、事業運営（経営）の将来ビジョンや目標等を明示した「米子市社会福祉協議会第2次発展・強化計画」を策定しました。来年度からは、この経営ビジョン、経営戦略に基づいた組織体制の整備、改革（発展強化）のスケジュール管理により、経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）の計画的投入と再配分を推進してまいります。

さらに、社会福祉大会等のイベントを各課からの選抜によるプロジェクトチームを結成して、企画・実施したところ、様々な可能性を見出すなど効果を上げることができました。

組織・職員体制の強化については、労働契約法の改正により有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときに、労働者の申込みにより無期労働契約に転換される（5年ルール）ことから、国のキャリアアップ助成金を活用して非正規雇用職員（嘱託職員、臨時職員）の処遇改善、正規職員化に取り組みました。これにより、経験豊富で優秀な人材の流出を抑制し、労働意欲の喚起、職場の活性化及び社会情勢の変化にも迅速に対応できる組織・職員体制の整備を図ることができます。また、理事会に専門委員会を設置し、理事の知見の反映と事業参画により経営基盤の強化の体制を整えることができました。

3月30日に米子市長と職員派遣に関する協定の締結を行い、今後、継続して市役所福祉保健部に研修を兼ねた支援として職員を派遣することになりました。これにより、米子地域における地域生活課題の解決に向けた推進体制の強化を図ることができます。

米子市社会福祉協議会は、市民主体の原則の下、一層の公共性を高め、市民の皆さんと共に知恵を絞り、汗を流すことによって、市民から信頼され、頼りにされる存在でありたいと考えています。今後も効果的かつタイムリーな情報発信に心がけ、地域住民、事業所、施設、団体及び行政との協働により、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい地域福祉を推進する協議体としての特性を発揮してまいります。

II 事業実施報告

1 法人運営事業について

会議の開催及び参加、事業の企画立案及び実施と諸規程の整備、苦情対応と情報公開の推進等、適正な法人の運営、財政の健全化と組織の強化に努めた。

(1) 会議の開催

ア 正副会長会の開催

正副会長会を5回開催し、理事会、評議員会提出議案等について協議した。

イ 理事会の開催状況（9回）

（会場：米子市福祉保健総合センター）

開催日	内容等
平成29年4月18日	<ul style="list-style-type: none">・経理規程の一部改正議決・職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正議決
6月6日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長の職務執行状況について・平成28年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録について認定・中央デイサービス指定通所介護事業所運営規程の一部改正議決・理事・監事候補者の選任・評議員会の招集議決
6月20日	<ul style="list-style-type: none">・会長、副会長の互選
8月29日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長の職務執行状況について・定款細則の一部改正議決・第50回米子市社会福祉大会開催要項及び大会役員について議決・協議事項 各地区敬老会来賓の代理出席者決定 評議員候補者決定
9月25日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長の職務執行状況について・平成29年度米子市社会福祉協議会長表彰候補者の審査・福祉バス運営委員会設置議決
12月7日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長の職務執行状況について 平成29年度上半期財政状況について・育児・介護休業等に関する規程の一部改正議決・各種委員会の設置議決
平成30年2月16日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長の職務執行状況について 役員及び職員給与規程の改正・正職員転換制度規程の制定議決・職員就業規程の一部改正議決

	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員等就業規程の一部改正議決 ・職員派遣規程の制定議決 ・中央デイサービスセンター運営規程の一部改正議決
3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 会長の職務執行状況について ・中央デイサービスセンター運営規程の一部改正議決 ・よどえ通所介護事業所運営規程の一部改正議決 ・生活福祉資金貸付調査委員会規程廃止議決 ・事務局組織規程の一部改正議決 ・文書取扱規程の一部改正議決 ・平成29年度補正予算同意 ・平成30年度事業計画、収支予算同意
3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度補正予算同意

ウ 評議員会開催状況（2回）

（会場：米子市福祉保健総合センター）

開催日	内容等
平成29年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 規程の改正 ・役員及び評議員等報酬等支給細則承認 ・平成28年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認 ・理事及び監事の選任
平成30年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 定款細則改正について ・平成29年度補正予算議決 ・平成30年度事業計画、収支予算議決

エ 監査会開催状況

（会場：米子市福祉保健総合センター）

開催日	内容等
平成29年5月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の監査

オ 委員会の開催

①評議員選任・解任委員会

評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者について審議し、欠員の評議員3名を選任した。

- ・開催日 平成29年10月18日
- ・出席者 5人（委員3人、市社協2人）

②福祉バス運営委員会

福祉バス運営委員会を開催し、福祉バスの購入、購入積立金、利便性の向上策等を協議した。

(第1回)

- ・開催日 平成29年12月27日
- ・出席者 10人(委員5人、市社協5人)

(第2回)

- ・開催日 平成30年2月6日
- ・出席者 7人(委員4人、市社協3人)

(第3回)

- ・開催日 平成30年3月2日
- ・出席者 8人(委員5人、市社協3人)

(2) 各種委員会の設置

運営体制や事業内容、専門的事項を検討・協議するため委員会を設置した。

- ・福祉バス運営委員会
- ・広報委員会
- ・総務・財政委員会
- ・介護事業検討委員会
- ・地域福祉推進委員会

(3) 規程の制定、改正、廃止の状況

- ・経理規程の改正
- ・職員の育児・介護休業等に関する規程の改正
- ・定款細則の改正
- ・正職員転換制度規程の制定
- ・職員就業規程の改正
- ・嘱託職員等就業規程の改正
- ・職員派遣規程の制定
- ・中央デイサービスセンター運営規程の改正
- ・よどえ通所介護事業所運営規程の改正
- ・生活福祉資金貸付調査委員会規程の廃止
- ・事務局組織規程の改正
- ・文書取扱規程の改正

(4) 役員、評議員、委員の選任状況

①評議員の選任 39人

平成29年4月1日付

・1号評議員 19人

橋本秀夫、小林道正、新見博士、辻 敏郎、松岡 勉、榎野祐治
浦木 昇、山本輝夫、矢倉検治、安田悟朗、安酸 茂、足立新治
横山賢治、井藤喜邦、松田史郎、谷上道夫、船北英治、大田 勝
小磯保弘

・2号評議員 12人

大西昭彦、杵築俊朗、森脇卓夫、北村軍二郎、福景順一、堀 純寿
木村吉春、吉岡 元、手島 博、松井克英、 脇坂喜啓、奥田 登

・ 3号評議員 2人

鎌田真治、廣江 仁

・ 4号評議員 6人

原 英機、辻 聡、河本六美、黒田正勝、野津寛美、斉下美智子

② 役員を選任

平成29年6月20日付

・ 理事 17人

八幡廣子、手島仁美、岩佐弘志、種田 進、足立泰雄、井藤喜邦

田後良文、大櫃興紀、山中通正、武良賢治、後藤修二、福景順一

福井徳明、中曾登志子、森灘喜代政、遠藤良子、角喜美江

・ 監事 2人

堀安宗威、池口栄浩

③ 会長、副会長の互選

平成29年6月20日付

・ 会長 1人

田後良文

・ 副会長 3人

福景順一、福井徳明、中曾登志子

④ 評議員の補欠選任

平成29年10月18日付

評議員に欠員が生じたため補欠選任を行った。

・ 1号評議員 1人

足村雅己

・ 2号評議員 1人

加藤 朗

・ 3号評議員 1人

松本順子

(5) 苦情対応

苦情対応の体制整備のため、苦情解決第三者委員を設置し研修会へ参加した。

ア 苦情解決第三者委員

秦 啓郎、本池美由樹、松本 眞

イ 研修会への参加

・ 福祉サービス苦情解決事業研修会

期日 平成29年8月31日

会場 東伯郡湯梨浜町 ハワイアロハホール

参加者 6人（委員3人、市社協3人）

(6) 情報公開

本会の事業内容、事業計画・予算書、事業報告・決算書、について「よなご社協だより」及び本会ホームページに掲載した。また、選任された理事及び評議員の氏名、役職を「よなご社協だより」に掲載した。

(7) 広報・PR活動の実施

市民に対する福祉意識の啓発のために、広報活動として、会報を発行するとともに、ホームページによる情報発信、PR活動を行った。

ア 会報「よなご社協だより」の発行全戸配布

年4回発行 146号～149号

1回当たり発行部数 46, 200部

イ ホームページによる情報発信

福祉サービスの内容、行事等随時更新し充実を図った。

ウ PR活動

社会を明るくする運動、クリーン活動、高校生マナーアップさわやか運動に参加し、活動を通してPRに努めた。

(8) 顕彰の実施

本市における社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、表彰又は感謝状を贈呈した。

ア 米子市社会福祉大会における市社協会長表彰及び感謝状状況

①社会福祉事業表彰

1) 永年在職団体役員 28人

2) 永年在職民生児童委員 36人

3) 永年在職施設団体職員 47人

②社会福祉事業感謝状

1) 社会福祉協議会役員功労者 4人

2) 社会福祉事業協力者 2人

3) ボランティア団体 1団体

4) 永年在職在宅福祉員 6人

イ 米子市社会福祉大会以外における感謝状状況

①在宅福祉員特別感謝状 6人

②社会福祉事業協力者 1人

(9) 財政の健全化

自己財源確保を目指し、団体会員、賛助会員の加入促進に努めた。

寄付金では、香典返しの減少傾向が続いており、寄付金税額控除について広報などで周知に努めた。また、地区社会福祉協議会に出向いて、寄付金の米子市社会福祉協議会への受領の一本化の説明を行った。

さらに組織の活性化と効率化と効率的な事業展開を図るため、職員の意識改革、職員説明会を開催した。

会費の状況（平成30年3月31日現在）

区分		実績額（円）
一般会費	39,080世帯	23,448,000
団体会費	91件	455,000
賛助会費	149件	1,250,000

寄付金の状況

区分	実績額（円）
一般寄付	2,286,147
香典返し	10,027,500

(10) 人材育成

職員の能力向上、育成を目指し、各種研修、講演会に参加した。

(11) 職員の福利厚生

職員の健康保持増進を図るため、衛生委員会を開催し、衛生に関する調査審議するとともに健康診断、ストレスチェック、研修会等を実施した。

ア 衛生委員会 6回開催（平成29年4月10日、5月11日、6月12日、7月20日、9月26日、12月18日）

イ メンタルヘルス研修会（管理職対象）平成29年7月14日 11人参加

ウ 健康づくり講習（ストレッチ講習）平成30年1月18日 17人参加

エ 健康診断 56人受診（9～11月）

ストレスチェック 58人受診（9月）

(12) 米子市社会福祉協議会第2次発展・強化計画の策定

「米子市社会福祉協議会第2次発展・強化計画」は、運営体制を強化するため、職員によるプロジェクトチームにより組織、財務、運営についての中期的な展望をもった取り組みについて検討、協議を重ね3月策定した。

(13) 災害への対応

自然災害等に備え、日頃から情報収集等を行った。また災害義援金募集を行い、義援金を送った。

○県内社協災害時相互応援協定締結（鳥取県社協、市町村社協）

平成29年7月1日

(14) 米子市社会福祉法人等連絡会の設立

市内の社会福祉法人・社会福祉施設が一堂に会し情報や意見交換する場をつくり、ともに地域における公益的な取組を進めるため、米子市社会福祉法人等連絡会を設立した。

○設立総会 平成29年10月30日（会場：米子市福祉保健総合センター）

24法人参加

2 地域福祉活動の推進について

(1) 地域福祉事業

地区社協活動の現状、課題等の把握を目的に、米子市社協会長、市社協職員、市役所福祉政策課職員にて米子市内全地区に対し聞き取り訪問を行った。聞き取りにて把握した現状、課題を今後の地域福祉活動推進に活用していくこととしている。

ア 地域支援事業

①地区版の地域福祉活動計画の取り組みへの支援

地区版の地域福祉活動計画の作成を通じて、住民自身が地域課題を把握し、課題解決に向けた具体的な福祉活動を検討し取組むことにより、地域福祉活動の推進を実践した。また既に計画を作成された地区における進捗状況の点検、今後の取り組みへの支援を行った。

地区	内容	回数
福生東	地域福祉推進委員会の実施	2回
	地域福祉推進委員会コアメンバー会議の実施	3回
	活動計画に関する打ち合わせ・協議	3回
福生西	地域福祉推進委員会の実施	2回
	高齢者福祉対策分科会の実施	3回
	子育て支援対策分科会の実施	3回
	防災・防犯対策分科会の実施	3回
	活動計画に関する打ち合わせ・協議	4回
県	地域社会福祉部会への参加	2回

②住民の支え愛マップづくり活動

小地域（自治会・町内会域）において災害時の要援助者避難支援や、平常時の見守り体制構築を目的に作成する住民の支え愛マップづくり活動について、市内各自治会に対して補助事業の周知を行うなど、支え愛マップづくり活動の支援を行った。

支援自治会数：6自治会

③要援護者地域生活支援活動

地域福祉コーディネーターを2名配置し、住民の地域福祉活動で発見された要援護者の生活課題の共有化やネットワーク形成を図り、また地域福祉コーディネーター自らが解決することのできない問題については、関係機関の専門職等につなぎ、連携を図るなど地域支援と個別支援を行う地域福祉活動を推進した。

④災害ボランティアセンター

被災地にて開設された災害ボランティアセンターへの職員派遣を通じて、災害ボランティアセンターの設置、運営方法等についての情報収集を行っている。

イ 小地域ネットワーク活動

地区社会福祉協議会を単位とし、在宅福祉員により一人暮らし高齢者等の要援助者を対象に、見守り・援助活動を行うことを通じて、日常生活上の困りごとの早期発見や軽度な援助活動、専門機関等につなぐ活動及び給食サービス活動を実施した。

また、日中閉じこもりがちな高齢者等が定期的集うことにより、日中活動の充実や近隣住民との繋がり、困りごとの早期発見等を目的としたふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

①在宅福祉員数：833人

②見守り・援助活動の実施状況 対象者：2,927人

③社協給食サービス活動の実施状況

実施回数	対象者数（延べ）	サービス提供者	
		調理者数（延べ）	配達者数（延べ）
241回	12,139人	2,625人	2,719人

④おせち料理、クリスマス料理の実施状況

対象者	おせち料理	クリスマス料理
2,621人	14地区	13地区

⑤ふれあい・いきいきサロン活動の実施状況

設置数	対象者	世話人数	合計
158サロン	3,209人	957人	4,166人

⑥在宅福祉員代表者連絡会の開催

平成29年7月6日

⑦在宅福祉員合同研修会の開催

平成29年11月24日

⑧地区での在宅福祉員会総会、研修会等への参加 3回

ウ 地区社会福祉協議会活動支援事業

米子市地区社会福祉協議会長連絡会の運営に協力するとともに、地域福祉活動の支援、協働を推進した。

①米子市地区社会福祉協議会長連絡会の開催

平成29年5月26日、平成30年2月27日

②各地区社会福祉協議会の相談に応じ、助言、意見交換をした

(2) ボランティア活動、福祉教育の推進

ア ボランティア活動の推進

ボランティア活動の拠点として、市民のボランティアに対する理解と関心を深め、活動に必要な情報の収集・提供、また各種講座の開催等を行い、ボランティア育成・支援の推進を図った。

①米子市ボランティアセンターへのボランティア登録状況

登録団体は、増加傾向にある。

区分	登録数
登録ボランティアグループ	110グループ
登録個人ボランティア	326人

②米子市ボランティアセンターへの相談状況

高齢者施設からの依頼が増加傾向にある。

区 分	件数・人数
新規登録	(個人4人、12団体)
依頼件数(要請・お願い)	45件
相談件数(助言・情報提供)	166件
コーディネート	47件
活動件数	(個人6人、41団体)

③ボランティア講座・研修会の開催

1) 傾聴ボランティア講座

新規 受講生の多さからも「傾聴」への関心の高さを感じる。

	開催日	場所	講座内容	受講者数
1	5月7日(日)	ふれあいの里	講演「傾聴ボランティアの素晴らしさ」 講演「傾聴する上での基本」 デモンストレーション	62
2	6月18日(日)		講演「相手と信頼関係を築く非言動的コミュニケーション」 デモンストレーション	122
3	8月26日(土)		講演『よい聴き手になるために～傾聴を学ぶ～』	110
4	11月25日(土)		講演「認知症の人と介護者との関わり方	61
			合計	355

2) 精神保健福祉ボランティア講座

米子市障がい者支援課と共催

昨年よりも受講者が増加した。人数としては少ないが、受講後の精神保健につながるボランティア活動実績がある。

No.	開催日	場所	講座内容	受講者数
1	7月4日(火)	ふれあいの里	講演『精神障がいについて』 ボランティア活動について	8
2	7月11日(火)	ふれあいの里	米子市の精神保健制度について 講演「病院から地域へつなぐために」 講演「地域での生活について」	8
3	7月20日(木)	ふれあいの里	米子市デイケア 「こころのひろば」参加交流	7
4	8月8日(火)	ふれあいの里	当事者の話 「家族会」活動について 先輩ボランティアの話	8
5	8月23日(水)	米子病院	米子病院デイケアに参加交流	7
6	8月30日(水)	あんず・あぷりこ	就労支援事業所見学及び修了式	7
			合計	45

3) 就労支援事業所交流

地域活動支援センターおおぞらと共催

	開催日	場所	内容	参加者数
1	8月8日(火)	ふれあいの里	友近890施設ライブ	30

4)レクリエーション講座
例年に比べ、受講者数が減少した。

	開催日	場所	講座内容	受講者数
1	1月18日(木)	ふれあいの里	『「楽」「笑」「遊」を創る!』 ～軽スポーツ、ゲーム、工作遊び～①②③④	11
2	1月23日(火)			10
3	1月30日(火)			13
4	3月1日(木)			13
			合計	47

5) ミニぼらんていあ祭(ボランティア入門)
米子市ボランティア協議会と共催

	開催日	場所	内容	参加者
1	11月18日(土)	ふれあいの里	ボランティア活動体験、紹介、展示等	約100名

④ボランティア活動保険加入の受付窓口

- 1) ボランティア活動保険…ボランティア活動中におこる様々な事故からボランティアの方々を補償する保険

加入受付件数 106件

区分	加入者数(人)	備考
在宅福祉員	836	補助金 @350
高校生(ボランティア体験事業)	108	補助金 @500
個人ボランティア	1,371	
総計	2,315	

- 2) ボランティア行事用保険…本会を始め、その構成員や会員である団体・グループ等が社会福祉事業の一環から主催する様々な行事でのリスクに備えるための総合補償制度

加入受付件数 67件

- 3) 福祉サービス総合補償…本会を始め、その構成員や会員である施設、団体、その他のグループ等が行う在宅福祉・地域福祉サービスでの様々な事故に対する備えとしての総合補償制度

加入受付件数 28件

- 4) 社協の保険…本会が行う業務を補償。

加入受付件数 1件

- 5) 送迎サービス補償…本会を始め、その構成員や会員である施設、団体、その他のグループ等が行う送迎サービスでの様々な事故に対する備えとしての補償制度

加入受付件数 19件

- 6) 事故発生件数 取扱件数 6件

⑤米子市ボランティアセンター会議室の利用状況

登録団体や活動件数が増えたことにより、会議室の利用も増加した。

部屋別利用状況（開所日数： 308日）

	ボランティア室	録音室	研修室 1	研修室 2	録音録画室	合計
件数	288	7	359	249	301	1,204
人数	2,930	21	4,008	3,966	903	11,828

	会議	学習会	作業	録音	録画	その他	合計
件数	347	301	2	308	0	246	1,204
人数	5,094	3,514	7	924	0	2,289	11,828

⑥ボランティア器材の貸出し

器材名	件数
託児用おもちゃ	0
スタッフジャンパー	0
アイマスク	0
ボランティア関連書籍	11
移動式スクリーン	0
畳（半畳）	0
DVD	0

⑦広報活動・情報提供

1)情報誌「ぼらんていあ情報」の発行（米子市ボランティア協議会共同発行）

年に12回(毎月1日)1回当たり2,200部を発行し、公民館、社会福祉施設、小・中・高等学校、専門学校、病院、市役所、ボランティアグループ、銀行・信用金庫各支店、バスセンター等に配布。社協ホームページ内にも掲載

2)ブログによる情報発信

社協ホームページ内（ボランティアセンター）にブログを開設し、ボランティア活動に関する情報等の提供を行った。

3)ボランティア情報掲示板の設置

ボランティアセンターのフロアーに掲示板を設置し、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント・講座等の情報提供を行った。

⑧情報収集

ボランティア受け入れ施設・ボランティアグループの調査

鳥取県西部地域における各関係機関・施設及びボランティアグループ・団体に対し、ボランティア募集について随時調査を実施

⑨ボランティア体験事業

鳥取県社会福祉協議会と共催

参加者 108人（体験事業受入協力 92施設）

⑩米子市介護支援ボランティア事業

登録人数 79人（事業受入協力 48施設）

⑪障がい者理解と防災意識の啓発

「米子市福祉のつどい」の開催

- ・ 1, 000人ウォークへの協力
- ・ 災害用非常食（マジックライス）炊き出しの実演と実食

⑫米子市ボランティア協議会の事務局及び運営協力

イ 福祉教育の推進

福祉の心が家庭・地域・学校などで体験的に培われるよう、市内37全小・中・特別支援学校を福祉教育推進校に指定して、児童生徒に対する福祉教育の推進を図るため、1校30,000円の助成を行った。

- ・ 福祉教育推進校育成助成状況

区 分	育 成 助 成 (校)
小 学 校	23
中 学 校	11
特別支援学校	3
計	37

(3) お祝い、激励事業

ア お祝い事業

米寿（88歳）、金婚（50年）・ダイヤモンド婚（60年）の対象者に祝詞、お祝いの記念品を送った。

- ①米寿（88歳）祝い対象者（昭和5年生まれ）

対象者数 925人

- ②金婚（50年）祝い対象者（組）（昭和43年に結婚）

対象者数 280組

- ③ダイヤモンド婚（60年）祝い対象者（組）（昭和33年に結婚）

対象者数 124組

イ 激励事業

交通遺児に対し、激励金の支給を行った。

交通遺児に対する激励金の支給

対象児童数（人）	一人当りの支給額（円）	金 額（円）
5	30,000	150,000

(4) 大会の開催及び参加

社会福祉に対する世論の喚起と市民福祉の充実を図るための社会福祉大会の開催をはじめ、精霊の供養のための精霊会を開催した。また、福祉に関係のある各種大会の共催及び参加をした。

ア 米子市精霊会・流灯会の開催状況

- ① 開催期日 平成29年8月16日
- ② 会 場 米子市湊山公園

- ③ 参加者数 約 1 万人
- ④ 内 容 米子仏教会等と実行委員会を組織し、精霊送りと灯ろう流し、供物の受取りを実施した。

イ 県民総合福祉大会の参加状況

- ① 開催期日 平成 29 年 9 月 1 日
- ② 会 場 倉吉未来中心
- ③ 参加者数 77 人（本会参加者 24 人）
- ④ 内 容 表彰、講演、民生児童委員活動発表（制度 100 周年記念）、DVD、アトラクション

ウ 米子市福祉のつどいの共催状況

- ① 開催期日 平成 29 年 9 月 24 日
- ② 会 場 どらドラパーク米子市民体育館及び周辺
- ③ 参加者数 約 340 人
- ④ 内 容 米子市ボランティア協議会、米子市との共催により、1,000人ウォーク、レクリエーション、マジックライブ実演等を実施。

エ 第 50 回米子市社会福祉大会（記念大会）の開催状況

- ① 開催期日 平成 29 年 10 月 16 日
- ② 会 場 米子市福祉保健総合センター
- ③ 参加者数 約 400 人
- ④ 内 容
 - 1) 表彰
 - 2) 講演 演題 1：「支え愛のふるさとづくり」
講師：鳥取県知事 平井 伸治 氏
演題 2：「魅力ある米子市～共生社会への取り組み～」
講師：米子市長 伊木 隆司 氏
 - 3) 50 回記念特別展示・事業紹介
 - 4) 福祉の店バザー 5 店舗
 - 5) 健康チェックコーナー（包括支援センター）

オ 米子市民余芸大会の共催状況

- ① 開催期日 平成 29 年 12 月 16 日
- ② 会 場 米子コンベンションセンター
- ③ 参加者数 約 1,300 人
- ④ 内 容 山陰中央新報社、米子市との共催により、チャリティーショーを開催した。（寄付金額 1,158,517 円）

（5）福祉バス運行事業

地区社会福祉協議会を始め市内の福祉団体、老人クラブ等の登録会員の地域社会交流、研修及び社会参加の促進を図るため、福祉バスの運行を実施した。

ア 老人福祉バスの運行状況

	利用回数（回）	利用延人数（人）
計	236	4,655

イ 福祉バスの運行状況

	利用回数（回）	利用延人数（人）
計	213	4,052

(6) 募金団体の事務局運営

福祉に関係のある募金団体の事務局運営を行い、募金運動に協力した。

- ①鳥取県共同募金会米子市共同募金委員会
- ②日本赤十字社鳥取県支部米子市地区
- ③米子地区更生保護協力会

(7) 福祉団体の事務局運営と自主活動化の支援

福祉団体の事務局運営を行うとともに、自主活動化の支援を行った。また、福祉団体の活動に対し助成を行った。

ア 福祉団体の事務局運営 10 団体

- ①米子市老人クラブ連合会
- ②米子市肢体不自由児者父母の会
- ③米子市手をつなぐ育成会
- ④米子市身体障害者福祉協会
- ⑤米子市連合母子会
- ⑥米子市保育所保護者会
- ⑦米子市遺族会
- ⑧米子更生保護女性会
- ⑨米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑩米子市ボランティア協議会

イ 福祉団体の育成助成団体 11 団体

- ①米子市民生児童委員協議会
- ②米子市連合婦人会
- ③米子市老人クラブ連合会
- ④米子市身体障害者福祉協会
- ⑤米子市遺族会
- ⑥米子市手をつなぐ育成会
- ⑦米子市肢体不自由児者父母の会
- ⑧米子市連合母子会
- ⑨鳥取県視覚障害者福祉協会西部支部
- ⑩米子更生保護女性会
- ⑪米子保護区保護司会

(8) 地域立子どもの遊び場の運営助成

地域住民参加の団体で運営している遊び場を登録し、助成した。

- ・地域立子供の遊び場設置数（市社協登録施設） 100施設

3 生活支援・総合相談事業について

(1) 生活困窮者自立支援事業

ア 自立相談支援事業

経済的かつ社会的困窮状態にある方に対して、包括的かつ継続的な相談支援、同行支援、求職活動の支援、自立支援計画の作成等を実施した。プラン作成件数が増えてきており、自立に向けた支援を行っている。

相談者の状況に基づくアセスメントから必要に応じた他機関への同行支援等を行うことによって、他制度の利用や他機関との連携を図った。

相談の状況

	(件)
新規相談受付件数	195
新規申込受付件数（本人同意有）	33
情報提供のみで終了件数	75
他機関へのつなぎで終了件数	26
プラン作成件数	33

アウトリーチ・同行支援実績

内容	(件)
自宅訪問	85
福祉課同行	10
市役所同行	16
ハローワーク同行	14
面接同行	4
会社見学同行	2
生涯現役事業同行	1
銀行同行	2
支払同行	12
法テラス同行	2
税務署同行	1
弁護士事務所同行	1
受診同行	10
年金事務所同行	4
クロスジョブ同行	1
不動産業者同行	4
児童相談所同行	1
包括支援センター同行	1
担当者会議	6
合計	177

(2) フードパートナー事業

緊急的かつ一時的に食事の確保に困るほど生活に困窮している世帯に対して、生活に必要な食料等を提供する生活再建に向けた支援を行った。また、食材・食品の提供者を募集し登録を行った。

支援対象世帯の状況

	件数
一般	11
貸付申請中	3
生活保護申請中	3
生活保護受給中	1
合計	18

世帯	件数
単身	14
2人	3
3人以上	1
合計	18

食品・食材提供者（平成30年3月31日現在）

登録者	10件（新規3件）
寄贈件数	131品

(3) えんくるり事業による経済的支援（現物給付）

既存の制度では対応できない、または緊急を要する場合の一時的な支援として、現物給付による経済的支援を実施した。

支援件数	2件
------	----

(4) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

日常生活に不安を抱えている高齢者や障がい者（知的・精神障がい）の方等を対象に、福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常的な金銭管理、書類等預かりサービス等を実施した。高齢者の新規契約が増えているが、成年後見制度への移行等により解約件数も増えている。また、知的障がい者の新規契約が増えている。

① 現在利用者数（平成30年3月31日現在）

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	生活保護（再掲）	合計
米子市	46	17	21	1	33	85

②新規契約・解約件数

(平成30年3月31日現在)

	高齢者		知的障がい者		精神障がい者		その他		合計	
	新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約
米子市	7	8	5	1	0	2	0	0	12	11

③ 相談援助件数

(平成30年3月31日現在)

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
米子市	836	390	929	53	2,208

(5) ふれあい総合相談事業の実施

日常生活の悩みや心配ごとについて、よなご暮らしサポートセンター職員が相談に応じる一般相談、法律問題について弁護士が相談に応じる法律相談を実施した。

相談の開設状況

相談種類	開設日	日数	相談延件数
法律相談	毎月第1、第3月曜日 (変更有)	24	70
一般相談 (電話相談含む)	月～金曜日 (祝日及び年末年始の休日は除く) 午前9時～午後5時		224 (法律相談受付含む)

相談取扱件数及び内容

相談者延件数	224 (件)		
相談分類	件数(件)	相談分類	件数(件)
生計	8	法律	104
年金	1	財産	10
職業・生業	3	事故	5
住宅・土地	9	児童福祉	1
家族	36	障害者(児)福祉	11
結婚・離婚	8	母子福祉・父子福祉	2
債権・債務	14	高齢者福祉	14
健康・保健・医療	23	苦情	17
教育・青少年	1	その他	51
		合計	318

(6) 資金の貸付

ア 生活福祉資金の貸付

低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、必要な相談支援ならびに安定した生活を送るための資金の貸付を行った。相談件数、資金貸付件数ともに増えている。

相談件数（延べ）	989件
----------	------

資金別貸付件数及び金額

資金の種類	貸付件数（件）	貸付金額（円）
福祉資金（福祉費）	2	3,489,000
緊急小口資金	20	1,593,000
教育支援資金	2	1,390,000
臨時特例つなぎ資金	1	100,000
総合支援資金	15	2,886,256
計	40	9,458,256

イ たすけあい金行の貸付状況

生活保護申請中の世帯を対象に、生活保護が決定される間で、第1回目の生活保護費が支給される日までの生活費として貸付を行った。昨年度より貸付件数は減少している。

資金の種類	貸付件数（件）	貸付金額（円）
一時貸付		
20,000円 （1～2人世帯）	48	960,000
30,000円 （3人以上世帯）	8	240,000
その他	1	5,000
合計	57	1,205,000

(7) 地域包括支援センター運営事業

担当地区（啓成、車尾、福生東、福生西、福米東、福米西）
地域包括ケアシステム構築に向けて

平成29年度の活動目標を6つ挙げて取り組んできた。地域の活動として新たに防災訓練に2地区で参加させていただき、高齢者だけでなく地域住民の皆さんにセンターを知っていただく機会となった。また、地域ケア会議開催は、個別事例の会議に加え、地域住民主体で課題整理・活動計画策定を進めておられる地区にかかわることで、改めて地域の力を実感した。地域の方々も少しずつ地域包括ケアという言葉に関心を持った方が増え、何かしなければという雰囲気を感じる。適宜情報提供を行って地域の声を形にし、次年度も引き続き、地域の求める形の会議を開催し、地域のネットワーク構築を進めていきたい。

ア 総合相談・権利擁護業務実績

高齢者の総合相談窓口として、介護・保険・医療・暮らし等に関して様々な困りごとに対応している。相談内容は、介護保険に関することが多いが、権利擁護に関する相談が増えている。

相談件数（延べ）			
電話（件）	訪問（件）	来所（件）	合計（件）
13,720	9,295	468	23,483

相談内容（延べ）				
介護保険サービス（件）	地域支援事業（介護予防） その他福祉に関すること （件）	権利擁護関係（件）	その他（件）	合計（件）
13,527	4,196	39	252	18,014

イ 介護予防ケアマネジメント業務実績（延べ）

予防給付は、要支援認定者の介護保険利用件数、予防事業は、総合事業の利用件数となっている。介護保険の利用者は、年間500件の増、新規利用者の実人数は200人の増だった。

予防給付（件）	予防事業（件）	合計（件）
6,457	712	7,169

ウ 地域におけるネットワーク構築業務実績（延べ）

地域の公民館や活動団体との連携活動や高齢者の個別訪問の件数をあげている。地域ケア会議としては、個別ケースの会議を7回開催、地域住民主体の地域ケア会議に12回参加した。地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席し、地域との交流が図れるよう支援している。

地域ニーズの把握・啓発・ネットワーク構築（件）	実態把握（件）	地域ケア会議（件）	地域密着運営推進会議（回）
216	484	19	68

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績（延べ）

包括的・継続的ケアマネジメント支援では、地域の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の支援を行っている。介護支援専門員からの相談対応や地域・医療との連携のための研修会を開催している。また、職員の研修参加回数は延べ100回増えており、自己研鑽に努めている。

ケアマネ個別支援（件）	研修会・他機関との連携会議（回）	居宅連絡会（研修会・事例検討）（回）
1,004	1,328	7

オ 地域支援体制構築

介護予防地区講座支援では、公民館の講座で介護予防に関する情報提供を行った。また、地区内のサロン支援では、情報提供や実態把握に努めている。認知症理解啓発事業としては、小学校に出かけ絵本を使つての啓発活動を行っている。さらにタッチパネルを使用して認知症の早期発見・相談に対応している。

介護予防 地区講座支援（回）	サロン支援（回）	認知症理解啓発 事業（回）	タッチパネル式物忘れ 簡易健診（人）
12	20	9	83

カ 緊急通報受信実績

緊急通報装置付き電話を設置している高齢者の電話対応をしている。電話の老朽化、利用者の高齢化に伴い撤去するケースが増えている。

緊急ボタン（件）	相談ボタン（件）	合計（件）
4	4	8

キ 実習生受け入れ

地域で活躍される福祉・医療の人材育成を支援している。T-HOC実習とは、鳥取大学病院が行っている病棟看護師の在宅研修であり、29年度より実習受け入れをしている。

医療センター	米子北高等学校	訪問看護師 養成	T-HOC 実習	合計
8人	6人	4人	3人	21人

(8) 米子ファミリー・サポート・センター運営事業

センターは、地域において子育て支援を図るため、育児の援助を行いたい者（援助・両方会員）と受けたい者（依頼・両方会員）を会員として組織化し、アドバイザーが仲介に入り、会員相互の育児支援活動を行った。

*アドバイザー（3名）は、広報活動や援助活動の調整及び各種講習会や会員交流会を開催し、他のファミリー・サポート・センターや他の関係機関との連絡調整を行った。また、アドバイザーの補佐的な役割を担うサブリーダー（中学校区を単位として援助・両方会員から選任した10名）の育成指導にもあたった。

ア 会員数について（平成30年3月31日現在）

依頼会員	791人
援助会員	231人
両方会員	39人
合計	1,061人

◆新規会員（88人）と、対象外による退会（94人）により微減となった。

イ 研修・会合開催状況について

- ① アドバイザーとサブリーダーの連絡会を年間9回行った。
（積雪のため1回、会を中止した。）
- ② 依頼会員の登録説明会を年間60回実施した。
- ③ 安心安全な子どもの預かりを行うため、「普通救命講習」や「子どもの心と体の発達とその問題点」など、2日間で合計10時間程度の『援助会員養成講習会』を年間2回実施した。
- ④ フォローアップ講習会では、～子どもの食事とおやつ～と題し、管理栄養士の指導のもと、『料理講習会』を実施した。
- ⑤ 会員同士の交流を図るために『会員交流会』として「ファミサポまつり」と「クリスマス会」を行った。

内 容	開催数 (回)	会員登録者 実数 (人)	参加者数	
			延べ人 数 (人)	備 考
アドバイザー、サブリーダー連絡調整会	9		107	
依頼会員登録説明会	60	78	121	家族(会員の子ども等)同席者も含む
援助会員養成講習会	2	援助会員12 両方会員4	65	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
フォローアップ講習会	1		32	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
会員交流会	2		227	出演者、会員の家族及び子ども、会員外の参加者を含む
合計	74	94	552	

- ◆援助会員養成講習会は参加希望者が少なく、援助会員の確保に苦慮している。
- ◆フォローアップ講習会、会員交流会は好評で参加者が多い。

ウ 活動状況について

活動状況においては、「保育所・幼稚園の送り」「保育所・幼稚園の迎え」を中心に、「こどもの習い事等の場合の援助」「学童の放課後の預かり」「放課後児童クラブの迎え」と続き、年間1,745回の活動が行われた。

内 容	回数(回)
保育所・幼稚園の登園前の預かり	101
保育所・幼稚園の送り	305
保育所・幼稚園の迎え	342
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	50
学童の放課後の預かり	264
放課後児童クラブの迎え	249
放課後児童クラブ終了後の預かり	1
子どもの病気時の援助	4
子どもの習い事等の場合の援助	156
保育所・学校等休み時の援助	99
保育所等施設入所前の援助	6
保護者等の短時間・臨時的就労、求職活動中の援助	73
保護者の求職活動中の援助	1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	3
保護者等の外出の場合の援助	39
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	25
その他（学童の学校への送り など）	27
合 計	1,745

◆合計活動件数 ⇒ 前年度比△915件（28年度 2,660件）

◆件数が減った理由として

- 兄弟の援助活動が、上の子どもが小学校を卒業し、対象外になったため。
- 民間の学童保育や小規模保育園など、施設が増えたため。

エ 広報活動について

①年間2回会報誌を作成し、会員、米子市社会福祉協議会、米子市役所、子育て支援センター、全国ファミリー・サポート・センター（約100か所）、他関係機関に配布し広報活動に努めた。

発行月	会報誌名	発行部数（部）
平成29年5月	よなごファミリー・サポート・センター Vol. 19	1,500
平成29年11月	ふれあい平成29年11月号	1,500

4 介護事業

(1) 介護事業の実施

社会福祉協議会運営の介護事業として「できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることを支える」という観点から、地域が必要としているサービスが実施できるように努めるとともに地域で信頼され、開かれた施設となるよう運営に尽力した。

平成29年8月より、米子市中央デイサービスセンターは地域密着型に変更したが、定員数を超過する申し込みがあったため平成30年3月に通常型に再度変更し、定員数を増やした。要介護度の軽度の利用が多い傾向がある。

よどえ通所介護事業所については、引き続き通常型で運営を行った。要介護度の重度の傾向がある。2事業所の共通点としてはともに介護予防の利用回数が増加している。

①通所介護事業実績

米子市中央デイサービスセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数（回）	317	363	324	301	312	297	336	343	328	291	279	326	3,817
介護予防利用回数数（回）	64	69	98	86	85	79	82	79	69	52	42	24	829

よどえ通所介護事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数（回）	365	442	434	412	433	407	405	372	324	334	317	396	4,641
介護予防利用回数数（回）	39	43	37	43	49	49	51	52	52	49	49	49	562

(2) 介護事業検討委員会の設置

社会福祉法改正に伴う法人改革の結果、役員改選を実施。役員改選により新たに各種委員会を設置し、委員会の一つとして介護事業検討委員会の再設置が決定した。